

小学校 4年 算数科「角の大きさ」

授業のねらい

分度器を使った三角形の描き方を考え、説明することができる。

「ハイブリッド授業」での工夫 ※ICT活用の工夫

○Teams のビデオ会議機能を使って教室の様子を映し、欠席児童へ活動の指示を出す。

○動画を自宅で撮影し、「オクリンク」で提出すると教室にいる児童と同様に動画を見て、考えを学ぶことができる。

児童・生徒の様子

【第1時】

○3人1組のグループになり、分度器を使って三角形の描き方の手順を考える。

【第2時】

○ミライシードのアプリ「オクリンク」を使って三角形の描き方動画を撮影し、撮影した動画を提出BOXに送る。

○3人の役割を(1)三角形を描く人、(2)説明をする人、(3)タブレットで撮影する人、に分ける。

→「オクリンク」の操作方法に不慣れな点はあったが、動画撮影をし、共有すること理解していた。この実践以降も理科や総合などで「オクリンク」を繰り返し使うことで操作に慣れ、学習の目的に焦点化できるようになった。

→欠席児童には、前面カメラ(液晶画面上部にあるカメラ)で手元を映し、三角形を描いて説明する様子を動画に収めるように指示する。動画ができたなら「オクリンク」に送信するように指示する。

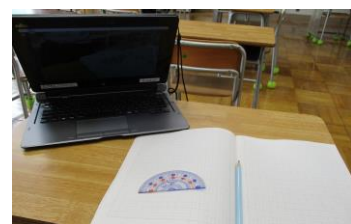
【第3時】

○提出BOXにある他のグループの動画を見て、良さを見つける。

○学習を振り返り、分度器を使った三角形の描き方をまとめる。



↑【撮影の様子】



↑【欠席児童が手元を映す場合 机上】



↑【友達の動画を見る】

成果

○短い手順で、分かりやすく説明しようとグループで意見を出し合う様子が見られた。

○動画を共有して他のグループの説明と自分のグループの説明の仕方を比べることで、三角形の描き方のまとめに繋げることができた。

課題

○撮影することが目的になっている児童が多く、三角形の描き方や、より分かりやすい説明の仕方を考えるという意識が薄れていた。